



各位

2019年4月1日

会社名株式会社 ディスコ  
 代表者名取締役 溝呂木 斉  
 会 長  
 (コード番号 6146 東証第一部)  
 問合せ先 IR 室 長 小澤 伸一郎  
 (TEL 03-4590-1111 (代表))

### 2019年3月期 第4四半期 個別売上高の速報値に関するお知らせ

個別売上高の概数を速報値として、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

2019年3月期 (2018年度) 個別売上高 四半期推移

(金額の単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	通期
売上高 (A)	34,591	34,474	69,066	28,929	<b>26,495</b>	<b>55,424</b>	<b>124,490</b>
(ご参考) 2018年3月期 (2017年度) (B)	37,645	35,690	73,336	34,096	34,459	68,556	141,892
対前年同期比増減率 (A/B) YoY	△ 8.1%	△ 3.4%	△ 5.8%	△ 15.2%	<b>△ 23.1%</b>	<b>△ 19.2%</b>	<b>△ 12.3%</b>
対前四半期比増減率 QoQ	0.4%	△ 0.3%	/	△ 16.1%	<b>△ 8.4%</b>	/	/

当第4四半期の個別売上高は264億95百万円 (YoY:23.1%減、QoQ:8.4%減) となりました。  
 通期売上高は1,244億90百万円となり、直近の通期個別業績予想 (売上高1,248億円) に対して99.8%の達成率となりました。

精密加工装置は、例年第4四半期 (1-3月期) に引き合いが活発化するものの、当四半期においては欧米地域が底堅い一方、ボリュームゾーンのアジア地域で投資意欲が低調だったことから、売上高は前四半期と比べほぼ横ばいで推移しました。  
 消耗品である精密加工ツールの売上高は、季節性による減少に加えて顧客の設備稼働率が低い水準であったことから、前年同期比、前四半期比ともに減少となりました。

2018年度は、後半より顧客の設備投資意欲減退が見られたものの、メモリを中心に幅広い半導体用途で装置および消耗品の出荷が底堅く推移したことから、通期売上高は過去2番目の高い水準となりました。

2019年3月期 第4四半期における決算業績の発表は5月8日に行う予定です。

#### 速報開示とは:

速報開示とは、投資家の皆様に対し当社業績に関するリアルタイムでの情報提供を行うことを目的とし、四半期ごとに個別売上高が判明した時点、及び連結売上高・個別業績が判明した時点で、それぞれ速報値として任意に開示をするものです。なお上記の速報値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成した監査終了前のものであり、実際の業績は監査法人の精緻な監査による指摘により速報値と異なる可能性があります。

以上